

「伊那市ものづくり 200 課題解決会議 (製造業情報交換会)」の開催について

市内製造業の経営者・管理者を対象とした「情報交換会」を初開催します。吉田浩之市長の「基調講演」やジェトロ長野所長による「中東情勢セミナー」、「パネルディスカッション」を通じて、企業間の交流促進と新たなビジネス機会の創出、地域内ネットワークの強化を目指します。

1 日時

令和8年7月30日(木) 午後3時～6時

2 場所

いなっせ 6階 ニシザワいなっせホール(伊那市荒井 3500 番地 1)

3 内容

(1)基調講演

伊那市長 吉田浩之 氏「現場の声から市政をつくる」

ジェトロ 鈴木隆之 氏「最近の中東情勢について」

(2)パネルディスカッション

市長×経営者が考える、伊那市の“ポスト「中東情勢」”戦略(仮題)

(3)情報交換会

4 対象

ものづくり企業の経営者層・管理者層

5 主催／共催

伊那商工会議所 工業部会 ／ 伊那市

6 添付資料

有

[本件に対する問い合わせ先](#)

初開催

200社の力で、未来を動かす。

伊那市ものづくり

200課題解決会議

～製造業情報交換会～

ポスト”中東情勢”
の成長を
どうつくるか。

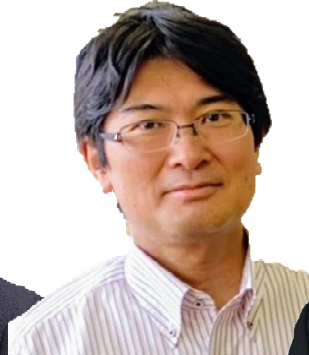
中東情勢の緊迫化、
原材料・エネルギー価格
の高騰、
深刻化する人手不足一。

今、それぞれの技術と強
みを掛け合わせ、新たな
連携と価値を生み出すこ
とが求められています。

本会は、企業間交流・ビ
ジネス機会の創出・地域
ネットワーク強化の場と
して開催します。



原田 学 氏
ファシリテーター
伊那商工会議所工業部会長／NCC(株)



鈴木 隆之 氏
ジェトロ
長野貿易情報センター所長



吉田 浩之 氏
伊那市長

スケジュール

14:45 受付開始

15:00 オープニング

15:10 基調講演
「現場の声から市政をつくる」
吉田浩之 氏 (伊那市長)

「最近の中東情勢について」
鈴木隆之 氏 (ジェトロ長野貿易情報センター所長
・前任地 ジェトロテヘラン所長)

15:55 パネルディスカッション
市長×経営者が考える、
“ポスト「中東情勢」” 戦略 (仮題)

17:00 情報交換会

18:00 閉会



日時

7 月 30 日(木)

15:00～18:00 (受付開始14:45)



会場

ニシザワいなっせホール
(いなっせ6階)
伊那市荒井3500 番地1



対象・定員

ものづくり企業の
経営者層・管理者層
80名 (先着順)



参加費

お一人様 1,000 円
(情報交換会のお茶代含む)



持ち物

名刺、筆記用具



お申し込み・お問い合わせ

申込フォーム

<https://forms.gle/aTxC6GrSctYQ61vG6>

またはメールにてお申し込みください。

申込締切：7月10日(金)まで



主催 伊那商工会議所工業部会
共催 伊那市

伊那商工会議所 経営支援課 担当：羽根井
TEL：0265-72-7000 Mail：sien@inacci.or.jp

事業所名			
参加者名	フリガナ	部署	
	氏名	役職	
参加者名	フリガナ	部署	
	氏名	役職	
メールアドレス		TEL	
住所			
事業内容	例:精密金属切削加工業(難削材加工に特化)		
従業員数	☐ 20人以下 ☐ 21人～50人 ☐ 51人～100人 ☐ 101人～300人 ☐ 301人以上		

事前アンケート(ご記入いただいた回答内容はすべて統計的に処理され、企業が特定される形で公表されることはございません。また、ご提供いただいた企業情報は事務局にて厳重に管理します。)

現在、業務や経営において、特に課題(お困りごと)と感じている分野はどれですか? (複数選択可)	【採用・育成】 ☐ 人手不足・採用難 ☐ 熟練技術の伝承・マニュアル化の遅れ ☐ 若手・中堅社員の早期離職 ☐ ダイバーシティ(多様性)の推進・活用 ☐ 外国人材の活用 【生産・品質】 ☐ 生産性の伸び悩み・効率化の限界 ☐ 不良率の改善・品質管理のバラつき ☐ 設備の老朽化・突発的な故障トラブル 【コスト・調達】 ☐ 中東情勢緊迫化などによる電気代・燃料費・エネルギーコストの高騰 ☐ 原材料や部品の調達難・海外サプライチェーンの分断 ☐ 輸送日数の長期化・物流費の高騰 【DX・IT】 ☐ 紙や Excel 中心の管理からの脱却 ☐ 製造現場の見える化(稼働状況の把握)が進まない ☐ IT ツールを扱える人材の不足 【営業・経営】 ☐ 新規販路・顧客の開拓 ☐ 適切な価格転嫁(取引先との値上げ交渉) ☐ 正確な原価管理・見積算出の曖昧さ 【その他】 ☐ 脱炭素(CO2 排出量可視化など)・環境対応 ☐ 各種法規制・コンプライアンスへの対応 ☐ その他()
具体的な状況やエピソードを教えてください(自由記述)	(記入例:中東情勢の緊迫化に伴い、電気代や燃料費が急騰しており、製造原価を圧迫しているが、取引先への価格転嫁(値上げ交渉)が難航している、など)
それらの課題を解決するために、外部に期待するサポートはありますか?(複数選択可)	☐ 今後の地政学リスクや為替・市場動向に関するタイムリーな情報提供・セミナー ☐ 補助金・助成金の申請サポート、情報提供 ☐ 現場の自動化・省力化に役立つ IT ツールやロボットの提案 ☐ 業務効率化(カイゼン活動)のコンサルティング ☐ 人材採用や社員教育の代行・研修サービス ☐ 新規顧客やビジネスマッチングの機会提供 ☐ その他()